

国立感染症研究所村山庁舎施設運営連絡協議会
第 15 回会議議事要旨（案）

- 1 日 時：平成 30 年 3 月 15 日（木） 15：00～16：00
- 2 場 所：国立感染症研究所村山庁舎管理棟 2 階 第一会議室
- 3 出欠状況：出席 22 名 欠席 1 名
- 4 議 題
 - (1) 前回協議会以降の取り組み状況について
 - (2) その他
- 5 資 料

資料 1：国立感染症研究所村山庁舎における地域との交流（前回平成 29 年 11 月 16 日の協議会以降）

資料 2：国立感染症研究所村山庁舎における主な安全対応訓練等について

資料 3：BSL 4 実験室内で実施される業務内容について

資料 4：国立感染症研究所村山庁舎施設運営連絡協議会 第 14 回会議議事要旨（案）

参考資料：2016 年のコンゴ民主共和国で流行した黄熱流行対策への貢献
- 6 議事概要（○：質問・意見等 ●：回答・連絡等）
 - 資料 1 の国立感染症研究所村山庁舎における地域との交流について説明する。
 - ・村山庁舎自衛消防訓練（実験室にて爆発が起き、その後火災が発生したことを想定）
 - ・武蔵村山市立雷塚小学校 6 年生児童への出張授業（インフルエンザの講義、迅速診断キットによる実習）等を行った。
 - ・今後、村山庁舎自衛消防訓練（地震発生を想定した訓練）等を予定している。

○ 6年生児童へ出張授業では、写真のような資料をスライドで用意し、わかりやすく授業をしてもらった。また、インフルエンザの迅速診断キットを使い実験的なことも行ってもらい、とても良い取り組みであったと思う。

● 資料2の国立感染症研究所村山庁舎における主な安全対応訓練等について説明する。前回の協議会では、国立感染症研究所村山庁舎安全管理検証チームを立ち上げたという説明をしたが、この検証チームでは会議を開催し、平成30年度に予定されている主な安全対応訓練等(案)をまとめたので、報告したい。

消防訓練については、村山庁舎全体の訓練、警備員及び設備員の合同訓練等を予定している。警備訓練については、警備員及び設備員の合同訓練を予定している。講習会については、バイオリスク管理講習会、BSL4実験室内で作業に従事する職員向け講習会等を予定している。健康診断については、BSL4実験室内で作業に従事する職員の適性検査、病原体等取扱者職員に対する特別定期健康診断等を予定している。また、新規として、曝露事故(針刺し事故等)を想定した対応訓練を実施したいと思っている。

○ 以前から、このような危険性なり懸念なりというものが想定されることは指摘されていた部分であり、その一つ一つについて、対応を図ってきているということで、結構なことだと思う。特に、昨年11月には実験室内での爆発事故を想定した訓練を実施したとのことだが、その実施した成果があれば教えてほしい。

● 今回の訓練の成果として、1つはこうした訓練を今までしたことがなかったので、どのような動作をすれば良いかということが、非常に良くわかったことが一番役立ったことである。また、トリアージ訓練においては、救急車等が来るまでにどのような対応をすれば良いのか、検証できたことが役立ったことである。今後、この成果をいろいろな訓練に結びつけたいと思う。

● 資料3のBSL4実験室内で実施される業務内容について説明する。

先日、所内の高度封じ込め施設運営委員会が開催され、その委員会で次の業務を実施することについて、承認が得られたので報告する。

業務課題名は、重症熱性血小板減少症候群の治療におけるファビピラビルと抗ウイルス抗体の併用効果である。業務実施責任者は、ウイルス第一部長が担当する。業務実施背景としては、抗ウイルス薬であるファビピラビルについて、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)に対する治療効果が報告されたこと等があり、また、日本、韓国、中国で流行しているSFTSに対す

る治療法の開発が急務の課題となっていることである。業務実施目的は、SFTSの致命率が10～30%と非常に高く、有効な治療法は存在しないため、よりすぐれたSFTSの治療方法を見出すことである。高度封じ込め施設において当該業務を行うことの必要性は、霊長類を用いた業務が、所内のBSL3施設ではできないため、高度封じ込め施設で当該業務を実施したいと考えている。実施期間は、平成30年3月下旬から平成31年3月末を予定している。その他として、本業務においては、霊長類が使用される予定であり、また、本業務はBSL4実験室安全操作指針に従い、安全性に配慮して実施する。

- どのような猿で何頭ぐらい使用する予定か。
- カニクイザルを用いる予定であり、現状では6頭から12頭である。
- これまでもBSL4施設を使う実験が幾つか行われていると思うが、どんなことをどの程度の頻度で行っているのか、簡単な実験日誌のようなものが公開されれば、わかりやすく安心できるのかなと思うので、今後、この協議会の資料として添えてもらえるとありがたい。
- BSL4実験室内で実施される業務は、これまでも協議会等で説明していると思うが、これが3件目となる。1つ目は、霊長類を用いて、SFTSウイルス感染症に対する抗体製剤の治療効果を調べる業務である。2つ目は、ニパウイルス感染症という病気で、これはアジアで流行している非常に致命率の高い脳炎が起こる感染症であるが、この感染症の輸入事例に備えた診断法の開発のための業務である。只今のご意見のように、BSL4実験室内で実施される業務の概要については、今後もこれまでのような資料を添えて報告できるようにしたいと思う。
- 例年、年末から年明けにかけて、BSL3施設とBSL4施設の定期点検を実施しているが、今年度も昨年12月から空調機や排水設備等の定期点検を実施した。最終報告はまだ出ていないが、今のところ大きな問題はない。
- 資料4の第14回会議議事要旨（案）をご覧いただきたい。各委員におかれては、内容について意見等があれば、3月23日の金曜日までに事務局に連絡をお願いする。意見等を踏まえ、案を取り議事要旨を確定して、感染研のホームページ上に公開する。

- 今、取りあえず意見を言わせてもらおうと、NPO法人子育て未来ネットでの講義とか、第三中学校区教育推進協議会での講演とあるが、どんな内容であったのかについて、括弧書きで記入したほうが親切な気がするがどうか。
- ご意見を踏まえ、括弧書きで追記したいと思う。
- 参考資料をご覧いただきたい。こちらは前回の協議会において、国立感染症研究所職員が国際緊急援助隊に参加したことを説明したが、この活動に対して本年1月末に、外務大臣より感謝状をいただいたので報告する。
最後に次回の協議会の日程であるが、こちらは別途調整するので、よろしくお願ひしたい。
また、委員の皆様においては、4月の人事異動等があれば、その旨、事務局のほうへ連絡をいただきたい。
- 昨年3月の南北避難通路の開通については、非常に便利になったのでお礼を言うのが先決ではあるが、大雨が降ると雷塚公園が冠水し、子ども達がこの通路を通れないという状況が生じており、不便を感じているので、これを何とか解決してもらえないかと考えている。
- 村山庁舎においては、敷地内であればできる部分もあるが、敷地外であるので難しいところがあるが、ご意見等については認識している。
- 南北避難通路については、特に通学路になったことが、ありがたいと思っている。また、雷塚公園や雷塚小学校は、災害の避難場所に指定されているので、この通路の開通によって、災害対応の観点から大変前進したということで、地域として評価している。しかし、大雨が降ったときには通れないので、市ともこの問題は話しており、解決する手だては技術的には考えているので何とか協力をお願いしたい。
- 平成28年には一度浚渫(しゅんせつ)をしたが、根本的に解決するには、大きな浸透枘を設置するしかないと考えている。簡易的な解決としては、公園内に少しかさ上げした小道を設置することも考えている。今後、抜本的な解決や簡易的な解決について、どの程度の費用等を要するのか、考えていかなければならないと思っている。いずれにしても、第一義的には市の対応になると思うので、担当課としても念頭には置いているが、財政的に厳しいので、直ぐには対応できないことをご理解いただきたい。

- この件は、各機関等の協力によって、なるべく解決に向けて知恵を絞っていきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。
- 南北避難通路は、昨年3月に通学路となったので、子ども達の安全を含めて、とても便利に使わせてもらっており、保護者の皆様からも好評である。この通路を通ることが無理だと判断したときには、全校一斉メールで配信し、迂回してもらうことで安全に配慮している。雷塚小学校は避難所でもあるので、この通路は大雨でも通れたほうが、何かのときには安全だという視点はとても大事だと思う。
- 今年、市内でインフルエンザが大流行したが、何か原因と思われるようなことをご存じなら教えてほしい。
- インフルエンザの流行については、WHOでも世界的に注意を喚起したというのが実情である。今期のインフルエンザの流行の原因については、今後、国立感染症研究所の感染症疫学センターを中心にデータを集めて検証を行う予定である。
- 日本はアメリカなどに比べて、結核の発症率は高いが、それは何とかならないものか。
- 結核に関しては、日本は今、中蔓延国ということなので、これを何とかオリンピックまでに低蔓延国の状態にするということで、プロジェクトが進んでいるように聞いている。
- 今後もいろいろな疑問とか質問等あれば、この協議会でも結構なので、ぜひ疑問、質問等をいただければと考えている。

(以上)